

令和6年度 一人1台端末環境を生かした情報活用能力育成の全体計画

<p>児童の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンやPCの所持率 低 高 ・情報機器に対する関心 低 高 ・発達の段階に即した論理的思考力 低 高 ・きまりやマナーを守ろうとする意識 低 高 	<p>学校の教育目標</p> <p>◎考える子 ○助け合う子 ○元気な子</p>	<p>学校の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用頻度 □ 大体の時間で活用する。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ毎日活用する。 □ 活用しない日もある。 □ 1週間活用しないこともある。 ・活用する教科 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんどの教科で活用している。 □ 活用していない教科が多い。 特に活用頻度が高い教科 (総合的な学習の時間 算数) ・端末の持ち帰り実施の状況 (原則、持ち帰りはしない)
---	---	--

情報教育の目標：一人1台端末を学習の内容や場面に応じてを効果的に活用し、全ての児童の可能性を引き出し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

情報活用の実践力	情報の科学的な理解	情報社会に参画する態度
課題や目的に応じて情報手段を適切に活用することを含めて、必要な情報を主体的に収集・判断・表現・処理・創造し、受け手の状況などを踏まえて発信・伝達できる能力	情報活用の基礎となる情報手段の特性の理解と、情報を適切に扱ったり、自らの情報活用を評価・改善したりするための基礎的な理論や方法の理解	社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解し、情報モラルの必要性や情報に対する責任について考え、望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度

西落合小学校で育成する情報活用能力を構成する資質・能力
ICTを活用して収集した必要情報を適切に収集・比較・分析したり、効果的に発信したりして、積極的にコミュニケーションを図る力

各発達段階で育成する情報活用能力を構成する資質・能力と各教科等の指導の重点（具体的な活用）

1・2年	3・4年	5・6年
基本的な操作方法を理解し、問題を解決するために必要な手順を知り、ICTを活用できる児童	問題解決に必要なICTの基本的な活用方法を理解し、情報を収集・整理したり、自己の考えを表現したりすることができる児童	ICTの有用性や危険性を十分に理解した上で、情報収集や整理・分析、情報の発信等、目的に応じて適切にICTを活用することができる児童
【国語】 録画機能を活用し、スピーチや話し合いを振り返る。	【音楽】 録画・録音機能を活用し、音楽表現を創意工夫する。	【道徳科】 ロイロノートの共有機能を活用し、自分の考えをまとめる。
【社会】 地図の活用や、情報を収集・整理・表現する。	【図画工作】 鑑賞活動で、写真機能を使って、表現の良さに生かす。	【特別活動】 プレゼンテーション機能等を活用し、情報を発信する。
【算数】 プログラミング学習を通して筋道を立てて考える。	【家庭】 実習の技能を可視化し、振り返り、評価・改善する。	【総合的な学習の時間】 情報の収集・比較・分析に活用する。 思考ツールを活用し、自分の考えをまとめる。
【理科】 観察、実験に動画等を使って分析・考察する。	【体育】 録画技能を活用し、ゲーム作戦や自己の動き方の分析をする。	プレゼンテーション機能等を活用し、情報を発信する。
【生活】 写真を使い、気付いた事や発見した物を発信する。	【外国語・外国語活動】 学習した外国語表現を、録画機能等を活用して表現する。	【各教科共通】 ・調べ学習及び表現活用を各教科で実施する。 ・道徳科を中心に各教科で情報モラル教育を実施する。